

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ワークセンター藤の森			
○保護者評価実施期間	R7年2月3日		～	R7年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名(17世帯)	(回答者数)	20名(17世帯)
○従業者評価実施期間	R7年2月3日		～	R7年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年2月21日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	広い活動スペースにより天候を問わず運動の機会が提供できる。	広い活動スペースを活かし、運動ができる機会を提供しています。また、動的活動スペースと静的活動スペースもわけているため構造化も図れている。	支援プログラムの見直しや活動に関する情報集を行い、スペースを有効活用できるようにしていきたいと思います。
2	特性ごとに応じたグループ分けで利用曜日を分けており、グループに応じた活動を提供できる。	小学校1年生～高校3年生までの異年齢の場となっておりそれぞれの特性に応じて、活動の内容や活動の進め方を変えて支援を提供しています。	今後もグループに応じた支援の充実化を図っていきたい。
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の他の子どもや地域住民との交流機会が不足していること	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもや住民との活動する機会を活動として提供できていません。	地域との交流において、どのような方法が自法人、他法人が参加しやすいか、参加する方々が楽しくなるイベントとなるか検討していきたいと思います。
2	支援学校のお子さんの就労に向けた支援が限られてしまう。	強みであり弱みとも取れますが年齢層的に高等部のお子さんは少ないため就労に向けた支援の提供が限られてしまう。	施設内外から中高生のお子さんの利用のご相談も多いため、対象年齢を絞った事業所の展開も考えていき、就労に向けた支援の充実を図りたい。
3			